



日高ロータリークラブ WEEKLY

2024-2025 R.1テーマ
ロータリーのマジック

THE ROTARY CLUB OF HIDAKA

例会日	毎週火曜日	時間	第1・3週 18:00~19:00	第2・4週 12:30~13:30
例会会場	日高市商工会	住所	〒350-1206 日高市南平沢1083 日高市商工会館内	
事務所	同上	TEL. FAX	042 (985) 3355	
会長	古本良子	幹事	谷野秀之	会報委員長 上野宗久

第1913回例会 2025年2月4日(火)

2025年2月25日発行 第1708号

本日のお客様

原島生慈様 (地区会員増強委員会委員長 秩父 RC)

会長の時間 古本良子会長

本日は、3月のロータリー月間テーマである『水と衛生』のお話をさせていただきます。日本人にはなかなかピンとこないテーマであるかもしれませんが、きれいな水をもたらすロータリーの取り組みをあらためて認識するとともに、さらに活動を広げていきたいと思いますというメッセージが込められています。安全な水と衛生設備の利用は、世界中のすべての人々が必要権利といわれています。しかし現実には、汚染水で病気になる人や命を落とす人が後を絶ちません…。しかも未来を担うはずの子どもたちが、水汲みなどの労働によって学校に通えず、つらい境遇を強いられている国が存在するのも事実です。最近ワイドショーなどを賑わせたフジテレビの問題ですが、スポンサー離れによりCMがほぼ『ACジャパン』(住みよい市民社会の実現を目指す民間の団体)に切り替えられるという事案が発生致しました。この事により、そういった世界の現実を皮肉にもよく目にする機会が増えた気が致します。ロータリークラブとしての活動は、井戸を掘るだけではありません。安全な水と衛生設備を提供した上で、衛生や伝染病予防に関する教育も行うことで、コミュニティ全体の生活を改善し、子どもの通学率を高めるということに尽力しております。こういった意義ある活動に自分たちも微力ではありますが関わることが出来ている事実を知り、綺麗な水が飲めるというのは当たり前で無いと今一度考えてみたいとおもいます。



幹事報告 古本良子幹事代行

理事会報告(承認事項)

- ・飯能 RC60 周年式典について 4月5日(土) 15時受付 全員登録(一人1万円)
- ・飯能、日高合同例会について 3月26日(水) 於：ヘリテージ飯能

結婚誕生祝

小坂雅彦親睦委員長



[誕生日] 2月

内海伸幸さん
清水佳代子さん
李 濬姫さん
和田貴弘夫人 里美様
犬竹一浩夫人 功子様

[結婚記念日] 2月

鈴木敏藏さん
松井幸司さん



卓話

原島生慈様（地区会員増強委員会委員長 秩父 RC）



現在、世界中のロータリーでは会員が減少していて『増強』が最大の課題となっています。もちろん会員数が増えている国もあります。会員数減少の原因はいろいろと考えられます。世界的パンデミック、戦争の影響下での経済の低迷、他の奉仕団体の広まり等々が考えられます。残念なことでありますが、現状のままでは100年以上続くロータリーも維持が厳しい状況になる事は想像に難くありません。そもそもロータリーは各クラブが主体であり、地区がありゾーンを形成して、RIが統括するという組織です。従って会員を増やすのも、基本的には各クラブが主体とならなければなりません。増強をするためには二点を考えることが重要です。一つ目は各クラブが新会員を受け入れる体制になっているかということです。この体制が出来ているかの指針が『DEI』です。多様性・公平性・包括性を各クラブが各会員に共有出来ているからこそ、新会員が安心して入会できるのではないのでしょうか。閉鎖的な考え方では、新会員は入会を躊躇してしまいます。そして二つ目が、会員以外の一般の方々にロータリーの活動を告知できているかということです。この周知活動が『公共イメージ』だと思います。もちろん各クラブでの活動は様々ですが、ロータリー精神に添った活動であるなら自信をもって周知すべきです。評価は他者がするのですから。また、別の方法で会員を増やす方法として、新クラブを作ることも考えられます。いずれにせよ会員を増やすことを各クラブの会員が本気で思っているかが前提です。ロータリーは不連続の連続ともいわれます。各年度の会長がそれぞれの方針でクラブ運営をするので、単年度で増強するのに難しさもあります。そこで考えていただきたいのが『3年計画 (Three Year Targets)』です。会員数が多いクラブは更なる増強を考え、会員数が少ないクラブこそ3年計画を立てての増強と一緒に考えませんか？現代は時代の流れは早い！その流れを見極め未来に向かうために既成概念を見直して、若い世代にロータリー精神を繋げるためにも会員増強を本気で検討しましょう。

～世界の会員数、現況報告～

現在、英国・米・加が減少傾向。アジアのみ増加傾向にある。日本のロータリー会員数の推移(2024年4月現在、84,122人 2,214クラブ) 会員数は、1996年より約5万人減少しているにもかかわらず、クラブ数に変化がない➡クラブの小集団化(平均37.4名) ➡クラブの拡大・活性化が重要。国際ロータリー現況報告(令和6年4月1日) 多様性の実現に向け若年層・女性会員の増強が課題。ここで面白い試みを御紹介させていただきます。

☆チャット GPT に聞きました！

【質問】ロータリーはどうやったら会員が増えますか？

【回答】ロータリーは、地域社会や世界中に通じるための非営利団体であり、世界中で多くのメンバーを抱えています。日本でもロータリーは広く知られていますが、会員数を増やすためには、以下のような戦略が考えられます。

① 地元コミュニティでの露出を増やす

ロータリーがどのような団体であるかを地元の人に知ってもらうことが大切です。地元の行事やイベントに参加し、ロータリーの活動やプロジェクトを紹介することで、人々の関心を引くことができます。

② ネットワークを広げる

会員募集には、アダプターの会員が友人や家族、同僚などにロータリーについて語りかけることが有効です。また、ロータリーのオンラインプレゼンスを強化し、WEBサイトやソーシャルメディアなどを活用して、新しいメンバーを募集することもできます。

③ プロジェクトに参加する機会を提供する

ロータリーのプロジェクトや活動に積極的に参加することで、ロータリーに興味を持っている人々を誘引することができます。興味をもってくれた人々に対して、ロータリーへの参加を提案することができます。

④ 若者に届ける

若い世代にロータリーの存在を知ってもらうことも重要です。ロータリーは、若い人々にとって、社会貢献やリーダーシップの経験を積む機会を提供することができます。若者たちに対して、ロータリーやプロジェクトに参加する機会を提供することで、新しいメンバーを獲得することができます。

日高 RC はどうでしょうか？ 現会員数 21 名。歴史も活気もあって素晴らしいクラブですが、現状維持で宜しいでしょうか？クラブの活性化のため約 25 名の会員数は必要かと思えます。その為に、CLP (クラブリーダーシッププラン) を導入し、独自性のある充実したクラブ運営を目指して下さい。増強の方法としては、『会員になってほしい人に卓話を依頼』『地域の各種団体との交流』等々あるかと思えます。一緒に未来を創造して参りましょう。過去の延長線上に未来はないと考えております。進化は伝統を守るもの。伝統とは旧態依然として秩序を守り続けるのではなく、今までの流れの上にさらに何か新しいものを生み出そうとする努力によってのみ守られるものではないでしょうか。さあ、25名を一緒に目指しましょう！

出席報告	2月4日	会員数	出席数	出席免除	欠席数	出席率	1/21 修正率
	夜間	21	13	2	8	63.2%	100%

ニコニコボックス報告

会員 13 名 合計金額 25,000 円 累計金額 253,000 円